

(1) 特定施設の構造

イ. 特定施設の号番号、名称、形式、構造、主要寸法および能力

名称及び通称	形 式	構 造	主 要 寸 法	能 力	備 考
飲食店に設置される ちゅう房施設		床 コンクリート 腰張 タイル 調理台 ステンレス 流し ステンレス	床面積 ○○㎡	食数 最大○○食/日	
水濁法施行令の 別表1に掲げる名称	施設の型等が あれば記入			座席数 ××席 収容人数△△人	
		施設の主要部分 の材質を記入	主要寸法を記入	施設をフル稼働した 場合の能力を記入	

特定施設およびこれに関連する主要機械または主要装置の配置（添付第 1 図のとおり）

ロ. 特定施設に係る工事の着手および完成の予定年月日、並びに特定施設の使用開始の予定年月日

工事着手予定年月日 令和○○年 ○ 月 ○ 日

工事完成予定年月日 令和××年 × 月 × 日

使用開始予定年月日 令和△△年 △ 月 △ 日

ハ. その他参考事項

飲食店の総床面積 ○○㎡-内訳

- ちゅう房 ××㎡
- 客 席 ××㎡
- 従業員更衣室 ××㎡

(2) 特定施設の使用の方法

特定施設を含む全ての操業の系統(フローシート)を記入。なお、汚水の系統も記入。

イ. 特定施設の設置場所 (添付第 1 図のとおり)

ロ. 特定施設を含む操業の系統 (添付第 2 図のとおり)

ハ. 特定施設の使用時間間隔および 1 日当りの使用時間並びにその使用の季節的変動の概要

名 称	使用時間間隔	1 日当りの使用時間	季節的変動の概要	備 考
飲食店に設置されるちゅう房施設	17:00 ~ 23:00	6 時間	なし	
水濁法施行令の別表 1 に掲げる名称	施設の使用時間間隔を記入	施設の 1 日当りの使用時間を記入	季節的な変動がある場合は記入	

ニ. 特定施設を含む作業工程において使用する原材料 (消耗資材を含む) の種類、使用方法および 1 日当りの使用量

名 称	使用原材料の種類	使用 方法	1 日当りの使用量	備 考
飲食店に設置されるちゅう房施設	食料(米、魚、肉、野菜等) 油 水 洗剤	調理及び洗浄	食料 ○○食 油 × L/日 水 △ L/日 洗剤 □ L/日	
	・全ての作業工程において、使用する原材料の使用の状況を記入 ・詳細な記入を要するので、記入欄不足の場合は、別表として添付			

ホ. 特定施設の使用時において、当該特定施設から排出される汚水の量および水質 (排除基準項目) (単位: 無記入は、mg/l)

特定施設 の 名 称	排水量		水 質											
	(m ³ /日)		pH		BOD (mg/L)		SS (mg/L)		n-Hex (mg/L)					
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
飲食店に設置されるちゅう房施設	30	45	5~9	5~9	200	250	200	250	100	150				

・当該施設から排出される汚水の通常量及び最大量を記入
 ・水素イオン濃度(PH)、生物化学的酸素要求量(BOD)、浮遊物質質量(SS)、ノルマルヘキサン抽出物質含有量(N-Hex)及びその他水質(規制項目の中で特に必要と思われる項目)を記入

ト. その他特定施設使用の方法について参考となるべき事項

(3) 汚水の処理の方法

イ. 汚水処理施設の設置場所（添付第 1 図のとおり）

ロ. 汚水処理施設に係る工事の着手および完成の予定年月日並びに使用の開始予定年月日

工事着手予定年月日 令和〇〇年 〇 月 〇 日
 工事完成予定年月日 令和××年 × 月 × 日
 使用開始予定年月日 令和△△年 △ 月 △ 日

ハ. 汚水処理施設の種類、型式、構造、主要寸法および能力並びに汚水の処理の方式

種 類	型 式	構 造	主要寸法	能力(m ³ /日)	処理の方式	備 考
グリース阻集器	三槽式	コンクリート	長さ×幅×深さ 1.3m×0.8m×0.6m		浮上分離	
	施設の型等が あれば記入			1日当りの 処理能力を記入	一般的な処理 方法の名称を記入	

ニ. 汚水の処理の系統（添付第 1 図のとおり）

ホ. 汚水の集水および汚水処理施設までの導水の方法（添付第 1 図のとおり）

ヘ. 汚水処理施設の使用時間間隔および 1 日当りの使用時間並びにその季節的変動の概要

処理施設の名称	使用時間間隔	1 日当りの使用時間	季節的変動の概要	備 考
グリース阻集器	17:00 ~ 23:00	6 時間	なし	
	施設の使用時間 間隔を記入	施設の1日当りの 使用時間を記入	季節的な変動が ある場合は記入	

ト. 汚水処理施設において中和、凝集、酸化、その他の反応の用に供する消耗資材の 1 日当りの用途別使用量

処理施設の名称	消耗資材名	用途別	1 日当りの使用量	備 考
グリース阻集器	なし			
	処理施設で使用する消耗資材を用途別に使用量を記入			

チ. 汚水処理施設による処理前および処理後の汚水の水質等（当該事業場の排除基準に定められた事項に限る。）
（単位：無記入は、mg/l）

汚水処理施設 の 名 称	排水量		処 理 前 水 質											
	(m ³ /日)		pH		BOD (mg/L)		SS (mg/L)		n-Hex (mg/L)					
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
グリース阻集器	30	45	5~9	5~9	200	250	200	250	100	150				
処理施設に流入する汚水の通常量及び最大量と処理前の水質(別紙No.2 ホと同じ)を記入														
	処 理 後 水 質													
			pH		BOD (mg/L)		SS (mg/L)		n-Hex (mg/L)					
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
			5~9	5~9	150	200	150	200	50	75				
	処理後の水質を記入													

リ. 汚水の処理によって生ずる残さの種類および生成量ならびに処理の方法

残 さ の 種 類	生 成 量 (kg/ 月)	処 理 の 方 法 の 概 要	備 考
グリース阻集器残渣	200 (kg/月)	業者回収 (業者名)	契約書写し別途添付
廃油	100 (L/月)	自己処理	
残飯	800 (kg/月)	業者回収 (業者名)	契約書写し別途添付

汚水の処理によって生ずる残さの種類、1箇月の生成量とその処理の方法について記入
なお、業者に処理を委託している場合において、契約書等があればその写しを添付

ヌ. 汚水の公共下水道への排出の方法（排水口の位置および数並びに排出先を含む。）
（添付第 1 図のとおり）

ル. その他汚水の処理の方法について参考となるべき事項

(4) 下水の量および水質

イ. 公共下水道への排出口における下水の量および水質（排除基準に定められた事項に限る。）

排出口 の 名称	排水量		排 出 口 水 質											
	(m ³ /日)		pH	BOD (mg/L)	SS (mg/L)	n-Hex (mg/L)								
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大				
ちゅう房排水	30	45	5~9	5~9	150	200	150	200	50	75				
排出口ごとに排出量及び水質を日間平均値と最大値に分けて記入 排出口は、添付図(全体配置図)の排出口と一致														

ロ. その他下水の量および水質について参考になるべき事項

(5) 用水および排水の系統

イ. 特定事業場における用水および排水の系統（添付第1図のとおり）

ロ. 用途別用水使用量および排出量（単位：m³/日）

	上水道	工業用水	地下水	循環用水	その他	計(用水)	計(排水)	備考
ボイラー用水								
原料用水	5					5	5	
冷却水（間接）								
〃（直接）								通常の操業時期の使用水量を給水源及び用途別に記入
メッキ用水								
酸、アルカリ洗浄用水								
その他洗浄用水	15					15	15	
生活用水	5					5	5	
その他	5					5	5	
合 計	30					30	30	

(6) 事業所の概要

イ. 事業活動の概要

資 本 金	700	万円	操 業 時 間	17:00~23:00	敷 地 面 積	1,100	m ²
従 業 員 数	30	人	休 業 日	なし	企 業 の 形 態	法人	個人
業 種	飲食業		代 表 者	下水 太郎	汚 水 処 理 等 の 責 任 者	下水 次郎	

ロ. 事業内容の概要（何を使ってどの様なものを製造しているか又はサービスを提供しているか等の概要）